

鉛川地区における 地熱開発構想に関する説明会

町内鉛川地区において地熱開発を実施している企業が関係者へ平成28年度の地下探査の状況と平成29年度の事業計画について説明を行いました。

【現在までの経過】

鉛川地区における地熱開発構想により、平成27年度に、地熱発電を想定した開発を行うための地表調査を実施しました。地表調査の結果、鉛川地区における地熱開発の有効性を確認したことから、平成28年度に地下探査を実施しました。

【説明会の内容】

説明会には関係者24名が参加し、事業者である三井不動産(株)とデナジー(株)から説明がありました。今後は、平成28年度の地下探査の結果を踏まえ、さらなる地下構造の把握、資源量のなお一層の確認のために平成29年度に、300m～500mの増掘を行うこと、また、増掘後には仮噴気試験を行い、仮噴気試験の状況によって還元井の掘

削や本格的な噴気試験を実施する旨の説明を受けました。同席した公的な試験研究機関である北海道立総合研究機構地質研究所の資源環境部研究主幹からも、事業の解説や助言をいただきました。

参加者からは、温泉施設等周辺環境への十分な配慮を求める意見や、自然環境、調査結果等についての質疑応答が行われました。

【町の方針】

町では、この説明会において出された質問などを勘案した結果、平成29年度の地熱開発構想についても、これまで同様、自然環境・景観に十分配慮すること、温泉事業者をはじめとした町内企業等に経済的な不利益をもたらさないことなどの条件のもと、同意することとしました。今後も開発の各段階に応じて関係者への説明を行い、平成29年度調査の結果がまとまった段階での説明会を行う予定です。

■地熱開発全体の構想

八雲町(鉛川地区)において、出力2,000kW～5,000kW程度を想定した地熱発電事業を展開する予定。同時に熱水の二次利用などを通じ、地域への経済還元を検討する。

■地下探査等の概要

調査範囲は「おぼこ荘」奥側の旧八雲鉱山小中学校跡地において、平成28年度において深度約2,050m(杭長約2,300m)を掘削。平成29年度においてはさらに300m～500m増掘予定。その後、仮噴気試験を実施し、状況により還元井を掘削。状況によっては調査井の追加掘削の可能性が異なります。

■今後のスケジュール(想定)

- ・平成29年度…調査井掘削、還元井掘削、噴気試験、発電所設計、設備認定
 - ・平成30年度…噴気試験、発電所設計、設備認定、発電所建設
 - ・平成31年度…発電所建設、発電所運転開始
- ※その他全期間を通して環境モニタリングを行う。

■提案企業の概要

○三井不動産株式会社 (東京都)

1941年設立。資本金339,766百万円。住まいづくりや各種施設の開発、コミュニティの形成等を積極的に推進する。街づくりノウハウを活用したエネルギー事業の展開と地域活性化の両立を実施。

○デナジー株式会社(東京都)

2013年設立。資本金1,000万円。再生可能エネルギー開発事業、省エネコンサルティング事業を展開。宮崎県をはじめ、熊本県、函館市(恵山)で地熱発電事業を実施。

【問い合わせ先】

商工観光労政課
☎0137-62-2116



△広告

ご供養の心によりそう
あおいセレモニー

- ・病院、各施設からの直接安置等、ご相談下さい
- ・町外からの搬送もお引き受けいたします
- ・自宅や寺院・会館を利用したの葬儀全てお任せ下さい

〒049-3102 北海道二海郡八雲町東町247-1
電話 0137-64-2855 FAX 0137-66-5015

新規・解体撤去・
リフォーム追加彫刻…
墓石のことなら
ご相談ください!
洋型・和型墓石も各種展示いたしております。

お任せ下さい!!

高橋石材工業株式会社
〒049-3122 北海道二海郡八雲町花浦78
TEL(0137)62-2960 FAX(0137)63-2266